

# 山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

## 八街市内の交通渋滞解消へ

# バイパス整備に期待



県議会予算委員会で、県の施策を質問する山本義一県議

持ち前の情熱と行動力で全力投球、大勢の八街市民から期待が寄せられている山本義一県議(二期)は、誰もが幸せを実感できる八街市、千葉県づくりにまい進しています。県の施策全般を審議する二月県議会の予算委員会では、歩行者を守る歩道整備のほか、県産農産物ブランド化、不法投棄問題などについて県の担当者に質問し、要望をしました。山本議員の予算委員会での質疑を特集します。

### 2月県議会予算委員会 八街市特集

**山本議員** 八街市は東西南北に走る主要な幹線道路が市内で集中し、慢性的な渋滞が発生している。特に幹線道路が交差する八街十字路は、JRの踏み切りに近いことから、渋滞が日常化している。  
現在、市内に集中する交通の分散を図るために八街バイパスの工事が進められているが、このバイパスの優先整備区間として、国道千葉八街横芝線から国道409号までの進捗状況と供用の開始の見通しはどうか。  
**道路整備課長** 現在、県では全長約三・二キロの八街バイパスのうち、早期に整備効果を発現するため、東側約二キロの整備を優先的にすすめているところであります。  
優先整備区間の進捗状況については平成二十二年十二月末において、用地取得は面積ベースで約98%、事業費ベースで約95%となっています。  
平成二十三年四月には、国道千葉八街横芝線と県道成東酒々井線を結ぶ約一・五キロについて、供用を図ることとしています。  
今後、残る国道409号までの〇・五キロについても、地元関係者の協力を得ながら早期完成に努めてまいります。

**要望** 山本議員 国道409号まで残り五百メートルの早急な開通を要望する。

**歩行者安全確保に欠かせぬ歩道整備**

山本議員 歩行者の安全を確保するための歩道整備についての県民からの要望が、数多く寄せられている。八街市でも、国道・県道に歩道がなく危険な箇所があり、整備が待たれている。そこでどうか、県道東金山田台線八街市山田台地先の歩道整備について、県は今後どのように進めていくのか。

**道路環境課長** 県では山田台三差路から二州小学校までの延長約五百七十メートルの歩道整備について、平成二十年度から地権者調べや平面図作成などの調査を実施してきたところです。  
平成二十二年度は、地元説明会や用地測量を実施しており、平成二十三年度から用地取得を進める予定です。今後とも、地元関係者の協力を得ながら事業の推進に努めてまいります。

**要望** 山本議員 県道東田台地先の歩道整備の予算措置をしていただき早期完成を要望する。また、側溝の上に堆積している土砂が歩行者などの通行に支障をきたしているところがある。ので、早急に撤去を要望する。

### 市町村の試み後押し

山本議員 市町村などでは地域の活性化を図る施策のひとつとして、農産物のブランド化への取り組みが始まっており、県においては、このような動きを支援することが重要。そこでどうか、農業振興について、県産農産物の地域ブランド化推進事業の内容はどのようなものか。  
農林水産部長 県産野菜の知名度アップと販売力の強化を図るため、東京大田市場での知事トップセールスの実施、京浜市場の卸売業者と連携して、平成二十二年から実施している量販店での一斉キャンペーンの更なる拡大など、県産野菜の魅力発信と販路拡大に向けて総合的に取り組んでまいります。

### 県産農産物のブランド化

山本議員 県が実施する地域ブランド化推進事業は、生産者団体などが実施する競合産地との差別化や商品の高付加価値化への取り組みなどを支援するものです。  
具体的には、生産者団体などが作成した「ブランド化計画」に基づき実施される市場調査やコンサルタン

東北関東大震災で被災された皆様から  
お見舞い申し上げます。  
山本義一

山本よしかず県議会レポート

# 農業の6次産業化支援

山本議員 農業者が食品加工、流通販売にも業務展開する六次産業化の推進について、県内の加工グループなどの現状はどうか。

担い手支援課長 県内における農産物の加工販売や直売など、生産と販売を結び付けて行動している加工グループ数は四百四件で、関東地域では最も多くなっています。

その販売金額の内訳は、三百万円未満の経営が五十四%、三百万円から五百万円が20%、五百万円以上が26%となっております。

山本議員 農業者が生産・加工・販売を一体的に行う六次産業化を進めるため、県は今後、どのような支援を行うのか。

担い手支援課長 本県では加工グループを対象に技術や経営能力向上のため、「新商品開発講座や販売力アップ研修などの開催」、商業者などの連携による地

域特産物を活用した商品の開発、「消費者との交流など、販路拡大に向けた企画の立案」など、普及指導活動を通じ支援してきたところです。

は、新たに創設する「ちばの六次産業化チャレンジ支援事業」により、「新商品の開発や販売促進活動に対する助成」、「新たな取組や販路を拡大する場合に必要となる機械・施設などの整備に対する助成」などを行って

まいります。これらによりまして、農業者の経営の多角化を、創意工夫による地域資源を活用した商品づくりなどを支援し、農業者の所得向上や産地の活性化を図ってまいります。

## 不法投棄の産業廃棄物

### 県内400万トン撤去されず



早期撤去が望まれる八街市上砂地区の不法投棄産業

あり、二番目の三重県の二・五倍に達している。そこでもうかがうが、県内の不法投棄産業廃棄物の現状とその対策はどうなっているのか。

廃棄物指導課長 まず、不法投棄の現状でございませうが、本県では、産廃一〇番という電話による通報制度の構築や二十四時間・三百六十五日体制の監視パトロールを実施してきたことなどにより、近年大規模な不法投棄は大きく減少してきています。

毎年度新たに発生する不法投棄量も、ピーク時である平成十一年度の約十八万トンと比較し、平成二十一年度では、約三万トンと激減しています。

しかし、今なお小規模でゲリラ的な不法投棄がなお

## 八街市上砂地区の不法投棄産廃撤去を

山本議員 全国各地で産業廃棄物の不法投棄が問題

になっていて、産業廃棄物が最も多いのは千葉県で

## 新年度県予算案を可決

### 景気回復見込み大型予算

景気回復見込み大型予算

景気回復見込み大型予算

景気回復見込み大型予算

## 高齢化時代にも対応

や看護師の確保へ予算が割かれていきます。災害時に、支援物資を確保に被災地に配送できるための予算を確保し、防災ネットワークづくり支援事業も盛り込むなどして、地震などの災害発生に備えることになりました。

## 八街市 集

### 2月県議会予算委員会 地域の連携で 創造的発展を

# 山本よしかず 県議

再質問 山本議員 平成二十二年年度の不法投棄に係る予算はいくらで、執行

再質問 山本議員 これまでに行行政代執行を行

要望 山本議員 上砂地区における不法投棄により住民の健康被害が心配されることから、たとえ少額でも良いから、一億円の予算を活用して、計画的に撤去していただけるよう要望する。

山本議員 八街市上砂地区の産業廃棄物の撤去の見通しはどうか。

山本議員 八街市上砂地区の不法投棄の行為者に対し撤去するよう指導